

第3回 日本神経学会 脳卒中特別教育研修会 プログラム集

会 期：2020年 **9月20日**(日)

会 場：**国立循環器病研究センター**
「エントランス棟3階講堂」※インターネット視聴参加を併用

会 長：**豊田 一則** (国立循環器病研究センター)

テーマ

脳卒中を診る 脳神経内科医を育てる



会長挨拶

第3回日本神経学会 脳卒中特別教育研修会

会長 豊田 一則

(国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 副院長)



日本神経学会は学会の総意として、脳卒中を含むcommon diseaseへの取り組みを強化しています。その一つとして、教育委員会、脳卒中对策特別委員会の事業として2018年より脳卒中の特別教育研修会を開催しています。(第1回 西山和利会長 東京、第2回 伊藤義彰会長 大阪)。今回、第3回大会を再び大阪の地で開けますことを、たいへん嬉しく、また有難く存じております。

今回の主題を「脳卒中を診る脳神経内科医を育てる」として、脳卒中医学の知識と意識の伝承を図る会を目指します。コロナ禍に対応するため、目玉企画である脳神経血管内治療や脳神経超音波診断の実技指導の開催を断念したことは残念でしたが、講演を一会場に絞り、実参加とインターネット視聴を併用するハイブリッド方式で、万全の感染対策を行って臨みます。当初予想を大きく上回る1200名を超える皆様に事前登録していただき、その中には多くの研修医や医学生の皆さんも含まれます。たいへんな遣り甲斐を持って会に臨みます。

今回は、過去2回の研修会での主流であった最新の脳卒中医療の教育講演に加えて、症例提示に基づく実践的な脳卒中診療の討論や、「脳卒中を診る脳神経内科医のキャリア形成」と題しての先輩医師からの体験談披露などの企画を立てました。インターネット視聴と云う制約下でどこまで盛り上げられるか、未経験の開催形態に一抹の不安を感じながらも、新しい時代の学会開催のあり方を提示しようと前向きに考えています。

ロゴが星の王子様とは面白いですねと云われます。小さな星で独り懸命に草木を育てる姿は、従来の脳神経内科医の技術伝承に相通じます。私はこの作者の、以下の文章を気に入っています。

農夫の家系にあっては / 人は半分しか死なぬ / 各々の一生は / 自分の番が
来ると / 莢のように割れて / 種を伝える (「人間の土地」サン・テグジュペリ)

しかしながら国民病である脳卒中に学会を挙げて対峙するには、一対一で正対する従来型指導に加えて、今回のような大掛かりな研修の機会を今後も増やす必要があります。

本会の開催につきましては、日本神経学会の広報委員会、編集委員会など多くの部署にご協力をいただきました。また日本脳卒中学会の後援をいただけたことも幸甚でした。脳卒中を診る脳神経内科医を育てるためには、両学会の強力な連携が必要と、強く思っています。わが職場、国立循環器病研究センターにも後援を貰って会場や機材の使用を容易にし、感染流行下でのハイブリッド開催を実現できました。

多くの皆様に国循講堂で、あるいはインターネットを介してお会いできることを、また皆様が新時代の研修会を満喫されることを、楽しみにいたしております。

主催／主催事務局／運営事務局

1. 主催

一般社団法人 日本神経学会（教育委員会、脳卒中対策特別委員会）

2. 主催事務局

国立循環器病研究センター 脳血管内科

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号

3. 運営事務局

日本コンベンションサービス株式会社

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階

TEL：06-6221-5933 FAX：06-6221-5939

Email：neurology-kensyu2020@convention.co.jp

参加者へのご案内（実参加・インターネット視聴参加）

1. 会期

2020年9月20日（日）

2. 会場

国立循環器病研究センター 講堂
〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号

3. 参加登録（事前登録制）

本研修会の参加形態は「実参加（現地参加）」と「インターネット視聴参加」の2種類ございます。

【実参加】をお選びいただいても当日【インターネット視聴参加】をすることが可能です。また、【インターネット視聴参加】をお選びいただいても、当日会場で聴講することが可能ですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、事前に運営事務局までご連絡ください。

参加区分	参加費
日本神経学会 会員	3,000 円
初期研修医、医学生	無料

※初期研修医、医学生の場合、学生証等の身分証明書のコピーを運営事務局へ必ずご提出ください。提出方法は郵送、メール添付どちらでも構いません。

※日本神経学会専門医認定更新単位付与3単位を付与されます。

※日本脳卒中学会専門医認定更新クレジット3単位を付与されます。参加証のコピーを日本脳卒中学会事務局へお送りください。

4. 講演抄録集

講演抄録集は「臨床神経学」に60巻11号及びJ-STAGE早期公開画面にて掲載いたします。

5. お問い合わせ

第3回日本神経学会 脳卒中特別教育研修会 運営事務局
日本コンベンションサービス株式会社
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階
TEL：06-6221-5933 FAX：06-6221-5939
Email：neurology-kensyu2020@convention.co.jp

実参加者へのご案内

本研修会における「新型コロナウイルス感染予防対策」をご確認の上、ご参加いただけますようご協力をお願いいたします。なお、実参加をされる際、予め「健康状態申告書」に必要事項をご記入の上、参加受付にご提出ください。

<実参加者へのお願い>

- ・実参加check in時に予めダウンロードして記入した「健康状態申告書」を提出してください。
(https://www.neurology-jp.org/education_info/pdf/03_stroke_course_02.pdf)
- ・会期当日、発熱を起こされた方はインターネット視聴参加に変更していただきます。
- ・マスクを着用の上、ご参加ください。
- ・企業共催セミナーでは、飲食中の会話は出来るだけ控え、食後は直ちにマスクを着用してください。
- ・実参加者は医療関係者としての自覚を以って、政府が発行する濃厚接触追跡アプリ COCOA を開会前2週間、会期中、閉会后2週間は使用してください。
- ・実参加前に COCOAアラート通知が来たらPCR 検査を受けて陰性を確認してから参加してください。(PCR 検査機関はお手数ですがご自分で手配ください)。もしPCR検査を受けることが出来ない場合は2週間体調観察してから参加するか、インターネット視聴参加に変更していただきます。会期間中COCOアラートが通知されたら、研修会事務局に連絡してください。

インターネット視聴参加者へのご案内

1. 事前準備

インターネット環境の準備と設定を行ってください。

PCを使用する場合は有線LAN接続を推奨いたします。

モバイル端末を使用する場合はLTE（3G、4G）ではなく、Wi-Fi接続を推奨いたします。

2. 視聴用ログインID、パスワード

ログインIDは「事前参加登録時のメールアドレス」、パスワードは「事前参加登録番号」です。

ご自身のID、パスワードは、事前参加登録の際に自動返信されたメール（送信元アドレス：entrada@mdpj.jp、件名：第3回 日本神経学会脳卒中特別教育研修会 事前参加登録のお知らせ）に記載されていますので、必ず事前にご確認ください。

3. Zoomによる視聴方法

あらかじめZoomをインストールすることを推奨いたします。

4. 参加形態変更の場合

【インターネット視聴参加】をお選びいただいても、当日会場で聴講することが可能ですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、事前に運営事務局までご連絡ください。

5. インターネット視聴参加上の注意

インターネットでの視聴は2020年9月20日（日）のみ可能です。後日配信はございません。

6. インターネット視聴参加に際しての同意事項

本研修会の内容を無断で複製・複製・編集・録画・録音・転用（本研修会のスクリーンショット・写真撮影・ダウンロード・他のサイトへのアップロードを含む）など著作権、肖像権の侵害、および不当な権利侵害を行わないこと。

ログインIDやパスワードを他者に知らせたり、共有したりすることのないよう管理すること。

不当な権利侵害を行うことにより生じた損害を賠償すること。

座長および演者へのご案内（実参加の場合）

1. 座長の方へ

講演開始10分前に会場右手前方に設けられた「次座長席」にご着席ください。

2. 演者の方へ

講演開始10分前までに会場右手前方に設けられた「次演者席」にご着席ください。

演者の先生は、講演開始30分前までに会場左手前方のオペレーター席へ発表データをご提出ください。

講演中のPC画面操作は、お手元のPCにてご自身で操作してください。

PC内の発表データは研修会終了後、運営事務局にて削除してください。

お持ち込みいただけるメディアは「USB フラッシュメモリー」です。

OSは「Windows」をご用意します。

アプリケーションは「Windows 版 PowerPoint 2010, 2013, 2019」をご用意します。

動画や音声をご使用になる場合は、データ登録の際に必ずお知らせください。

3. 発表機材

	Windows	Macintosh
PC 本体の持込	○	○
メディアの持込 (USB メモリー)	○	×
OS Windows 10	○	—
アプリケーション	PowerPoint 2010, 2013, 2019	—
動画ソフト	Windows Media Player	—

※Macintosh でプレゼンテーションデータを作成された場合はご自身のパソコンをご持参ください。

※本研修会は、PC プレゼンテーションのみの発表といたします。

※動画ファイルがある場合は、パソコン本体のお持ち込みをお奨めいたします。

座長および演者へのご案内（インターネット参加の場合）

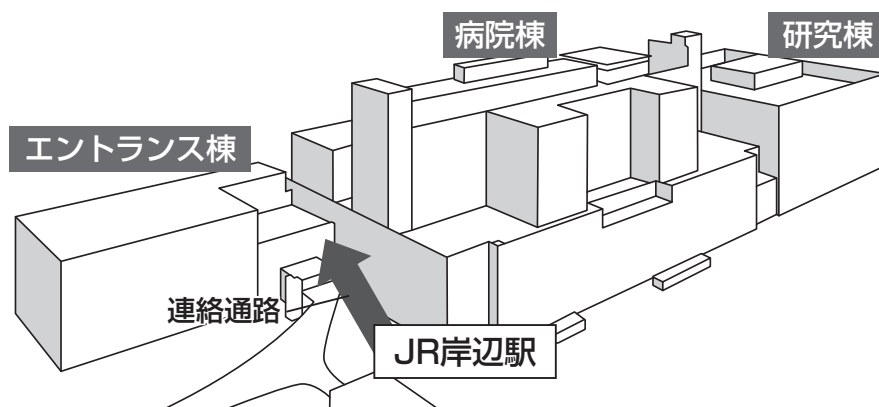
個別にご案内させていただきます。

ご不明な点がございましたら、運営事務局までご連絡ください。

会場アクセス



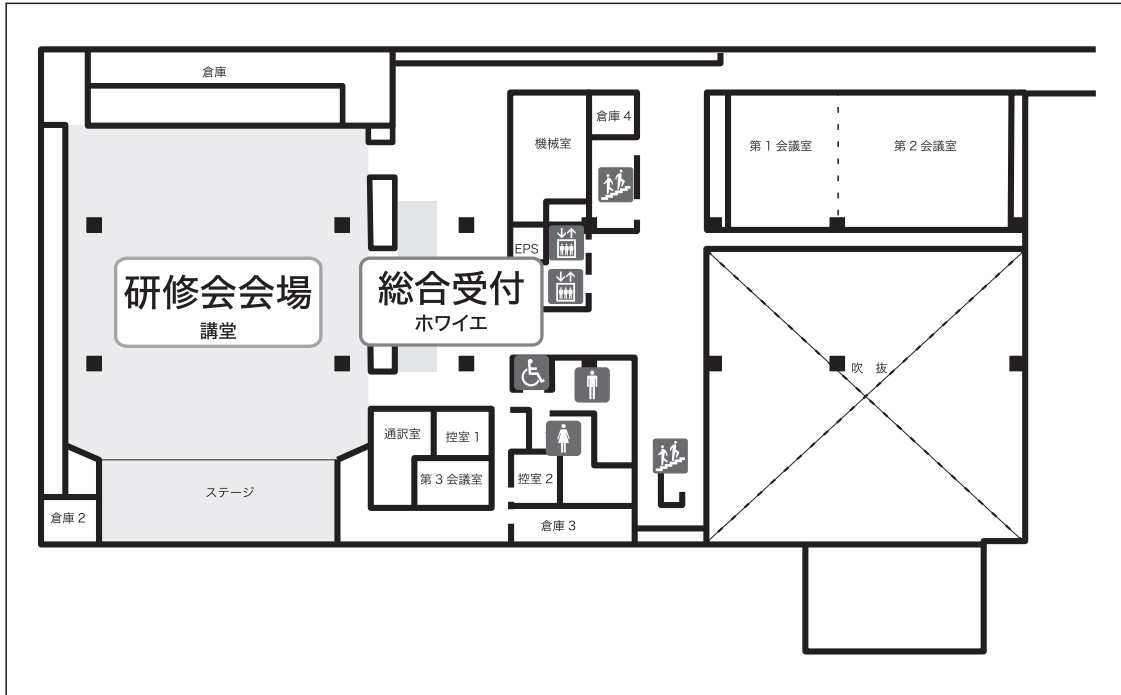
新幹線新大阪駅よりJR 京都線に乗り換え、岸辺駅下車（所要7分）、岸辺駅に直結



- ・本研修会会場の講堂は、エントランス棟3階です。
- ・会期当日はエントランス棟2階正面玄関からご入場ください。

会場フロアマップ

国立循環器病研究センターエントランス棟 3階



日 程 表

国立循環器病研究センター エントランス棟3階講堂	
9:00	09:00 ~ 09:10 開会挨拶 豊田 一則
	09:10 ~ 09:50 講演1 「CT, MR, RI 診断」 座長：水野 敏樹 演者：八木田 佳樹
10:00	09:50 ~ 10:25 講演2 「超音波診断」 座長：北川 一夫 演者：藤本 茂
11:00	10:30 ~ 11:25 テーブルディスカッション1 「この症例の診断と治療は？【初級編】」 演者：卜部 貴夫、板橋 亮、鷺田 和夫
12:00	11:30 ~ 12:05 講演3 「虚血性脳血管障害への血管内治療」 座長：豊田 一則 演者：藤堂 謙一
13:00	12:10 ~ 13:10 企業共催セミナー1 「抗血栓療法に伴う脳出血： ガイドライン追補 2019 を読み解く」 座長：伊藤 義彰 演者：平野 照之 (CSL ベーリング株式会社)
	13:10 ~ 13:45 講演4 「静注血栓溶解と急性期薬物療法」 座長：長谷川 泰弘 演者：古賀 政利
14:00	13:50 ~ 14:25 講演5 「亜急性期以降の再発予防」 座長：豊田 一則 演者：井口 保之
15:00	14:30 ~ 15:25 テーブルディスカッション2 「この症例の診断と治療は？【上級編】」 演者：西山 和利、辻野 彰、井上 学
16:00	15:30 ~ 16:30 企業共催セミナー2 「脳小血管病から診る本邦の抗凝固療法」 座長：富本 秀和 演者：薬師寺 祐介 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/ファイザー株式会社)
17:00	16:30 ~ 17:45 テーブルディスカッション3 「脳卒中を診る脳神経内科医のキャリア形成」 座長：木村 和美、豊田 一則 演者：河野 浩之、田中 寛大、猪原 匡史、木村 和美
18:00	17:45 ~ 17:50 閉会挨拶 豊田 一則

第3回日本神経学会 脳卒中特別教育研修会 プログラム

09:00～09:10

開会挨拶

豊田 一則 (第3回日本神経学会 脳卒中特別教育研修会 会長)

09:10～09:50

講演1「CT, MR, RI 診断」

座長：水野 敏樹 (京都府立医科大学 神経内科学)

演者：八木田佳樹 (川崎医科大学 脳卒中医学)

09:50～10:25

講演2「超音波診断」

座長：北川 一夫 (東京女子医科大学 神経内科学)

演者：藤本 茂 (自治医科大学 神経内科学)

10:30～11:25

テーブルディスカッション1「この症例の診断と治療は？【初級編】」

演者：卜部 貴夫 (順天堂大学浦安病院 脳神経内科)

板橋 亮 (岩手医科大学 脳神経内科・老年科)

鷺田 和夫 (国立循環器病研究センター 脳神経内科)

11:30～12:05

講演3「虚血性脳血管障害への血管内治療」

座長：豊田 一則 (国立循環器病研究センター)

演者：藤堂 謙一 (大阪大学 神経内科学)

12:10～13:10

企業共催セミナー1「抗血栓療法に伴う脳出血：ガイドライン追補2019を読み解く」

共催：CSL ベーリング株式会社

座長：伊藤 義彰 (大阪市立大学 脳神経内科)

演者：平野 照之 (杏林大学 脳卒中医学)

13:10～13:45

講演4「静注血栓溶解と急性期薬物療法」

座長：長谷川泰弘 (聖マリアンナ医科大学 脳神経内科)

演者：古賀 政利 (国立循環器病研究センター 脳血管内科)

13:50～14:25

講演5「亜急性期以降の再発予防」

座長：豊田 一則 (国立循環器病研究センター)

演者：井口 保之 (東京慈恵会医科大学 脳神経内科)

14:30～15:25

テーブルディスカッション2「この症例の診断と治療は？【上級編】」

演者：西山 和利 (北里大学 脳神経内科学)

辻野 彰 (長崎大学 神経内科学)

井上 学 (国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科)

15:30～16:30

企業共催セミナー2「脳小血管病から診る本邦の抗凝固療法」

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社／ファイザー株式会社

座長：富本 秀和（三重大学 脳神経内科）

演者：薬師寺祐介（関西医科大学 脳神経内科）

16:30～17:45

テーブルディスカッション3「脳卒中を診る脳神経内科医のキャリア形成」

座長：木村 和美（日本医科大学 脳神経内科）

豊田 一則（国立循環器病研究センター）

脳卒中診療のための初期修練

演者：河野 浩之（杏林大学 脳卒中医学）

血管内治療修得への道

演者：田中 寛大（国立循環器病研究センター 脳卒中集中治療科）

研究活動と留学の体験

演者：猪原 匡史（国立循環器病研究センター 脳神経内科）

シニア医師から若手への助言

演者：木村 和美（日本医科大学 脳神経内科）

17:45～17:50

閉会挨拶

豊田 一則（第3回日本神経学会 脳卒中特別教育研修会 会長）

第3回日本神経学会 脳卒中特別教育研修会開催にあたり、ご協力をいただきました。
ここに深く感謝の意を表します。

協賛企業・団体

(企業共催セミナー)

CSL ベーリング株式会社

ファイザー株式会社

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

(広告)

第一三共株式会社

帝人ヘルスケア株式会社

バイエル薬品株式会社

(後援)

一般社団法人日本脳卒中学会

国立研究開発法人国立循環器病研究センター



Lixiana
edoxaban

経口FXa阻害剤 薬価基準収載

リクシアナ[®] 錠・OD錠
15・30・60mg

一般名：エドキサバントシル酸塩水和物
処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先を含む)
第一三共株式会社
Daichi-Sankyo
東京都中央区日本橋本町3-5-1

2020年1月作成

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

患者さんの Quality of Lifeの向上が テイジンの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD003-TB-2002



選択的 direct 作用型第Xa因子阻害剤

イグザレルト® 錠・OD錠・細粒分包 10mg 15mg

Xarelto® (リバーロキサバン)

錠・細粒分包:薬価基準収載 | OD錠:薬価基準未収載

処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 【文献請求先及び問い合わせ先】

バイエル薬品株式会社 大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001 <https://byl.bayer.co.jp/>
【コンタクトセンター】 0120-106-398 <受付時間> 9:00~17:30(土日祝日・当社休日を除く)

2020年8月作成

PP-XAR-JP-1840-04-08